

NY マーケットレポート (2020年2月20日)

2020年2月20日 (木)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%
日経平均	23,479.15	+78.45	-0.75%
ハンセン指数	27,609.16	-46.65	-2.06%
上海総合	3,030.15	+54.75	-0.65%
韓国総合	2,195.50	-14.84	-0.10%
豪ASX200	7,162.49	+17.94	7.16%
シンガポールST	3,198.68	-15.03	-0.75%
インドSENSEX	41,170.12	-152.88	-0.20%

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	112.15	112.23	111.11
EUR/JPY	120.97	121.40	120.10
GBP/JPY	144.43	144.61	143.60
AUD/JPY	74.20	74.42	73.79
EUR/USD	1.0786	1.0821	1.0778
BRL/JPY	25.363	25.534	25.273
RUB/JPY	1.736	1.752	1.729

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%
英FT100	7,436.64	-20.38	-1.40%
仏CAC40	6,062.30	-48.94	1.41%
独DAX	13,664.00	-125.00	3.13%
スペインIBX35	9,931.00	-152.60	4.00%
イタリアFTSE MIB	25,080.16	-397.39	6.70%
トルコ・イスタンブール100	115,642.04	-3554.05	1.06%
ロシアRTS	1,535.81	-6.27	-0.85%
南ア全株指数	57,793.03	-147.94	1.24%

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1620.50	+8.70	6.39%
NY 原油	53.78	+0.49	-11.92%
CBOTコーン	382.75	-2.50	-1.29%
CRB指数	174.727	-0.772	-5.95%
ドル指数先物	99.889	+0.184	3.63%
VIX指数	15.56	+1.18	12.92%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	29,219.98	-128.05	2.39%
S&P500	3,373.23	-12.92	4.41%
NASDAQ	9,750.96	-66.21	8.67%
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	17,944.06	+18.70	5.16%
メキシコ・ボルサ指数	44,774.54	-126.96	-2.83%
ブラジル・ボベスパ指数	114,586.24	-1931.35	-0.92%

Crypto Currency	本日	前日
CME Bitcoin(先物・期近)	9635	9635
Ripple (BSTP)	0.277	0.280
Ethereum (BSTP)	259.32	262.22
Bitcoin Cash	373.20	383.70

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.150%	-0.154%
5年債	-0.136%	-0.149%
10年債	-0.039%	-0.047%
30年債	0.365%	0.370%

欧州国債利回り	本日	前日
ドイツ10年債	-0.444%	-0.418%
英国 10年債	0.576%	0.599%
フランス 10年債	-0.220%	-0.180%

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.389%	1.422%
3年債	1.359%	1.391%
5年債	1.363%	1.408%
7年債	1.443%	1.493%
10年債	1.515%	1.566%
30年債	1.961%	2.014%

*一部暫定値

2/21 経済指標スケジュール

08:30 【日本】1月全国消費者物価指数
 13:30 【日本】12月全産業活動指数
 14:30 【日本】1月全国百貨店売上高
 14:30 【日本】1月東京地区百貨店売上高
 17:00 【スイス】1月マネーサプライM3
 17:15 ~ 18:30
 【仏】【独】【欧】【英】2月製造業PMI・非製造業PMI
 18:00 【ポーランド】1月小売売上高
 18:30 【英国】1月公共部門純借入所要額
 18:30 【英国】1月公共部門純借入額
 19:00 【欧州】1月消費者物価指数
 22:30 【カナダ】12月小売売上高
 23:45 【米国】2月製造業PMI・非製造業PMI
 00:00 【米国】1月中古住宅販売件数

2/21 主要会議・講演・その他予定

- ・ダラス連銀総裁、アトランタ連銀総裁 講演
- ・ブレイナードFRB理事、クラリダFRB副議長 講演
- ・クリーブランド連銀総裁 討論会
- ・米民主党議員集会 (ネバダ州 22日)
- ・G20財務相・中央銀行総裁会議 (22日-23日 リヤド)

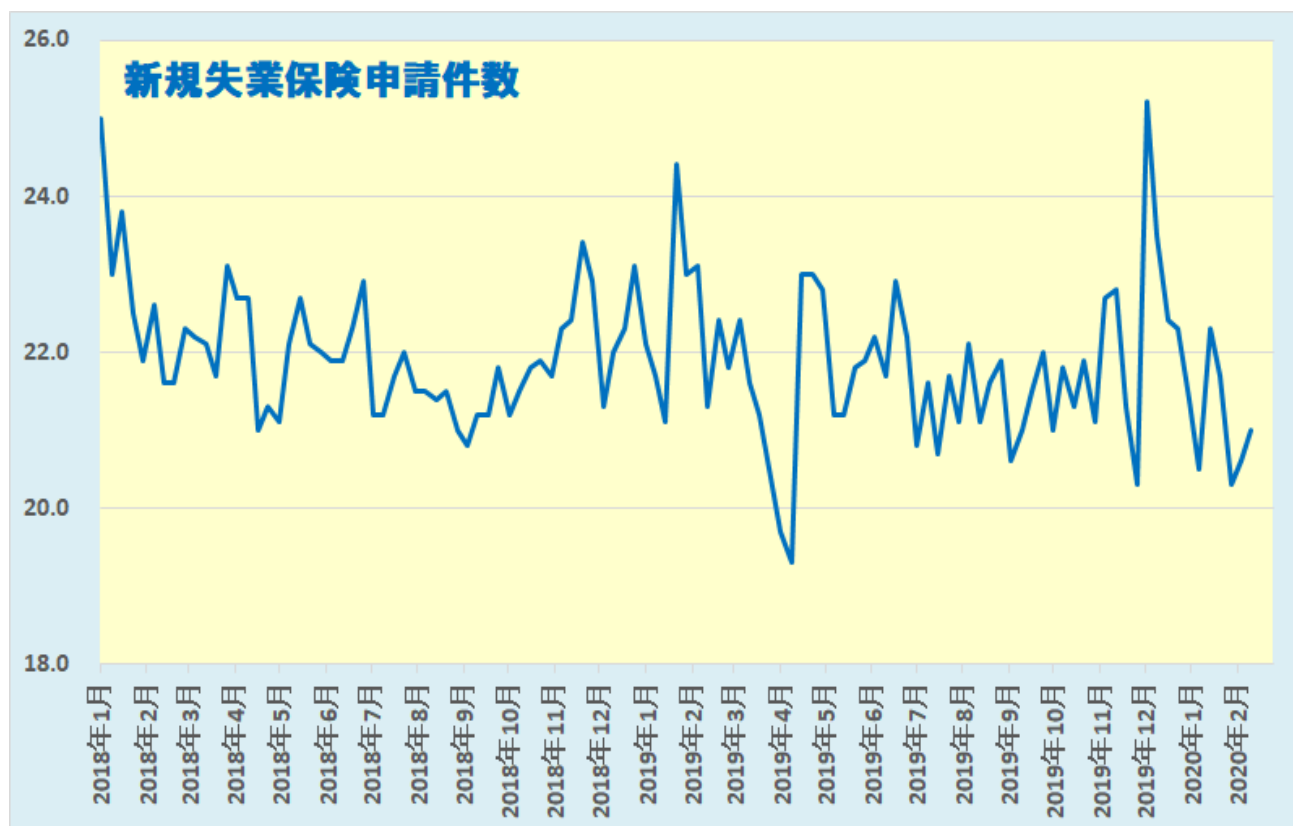
NY 市場レポート

主要な米経済指標の結果

新規失業保険申請件数 21.0 万件（予想 21.0 万件・前回 20.5 万件⇒20.6 万件）

失業保険継続受給者数 172.6 万人（予想 171.7 万人・前回 169.8 万人⇒170.1 万人）

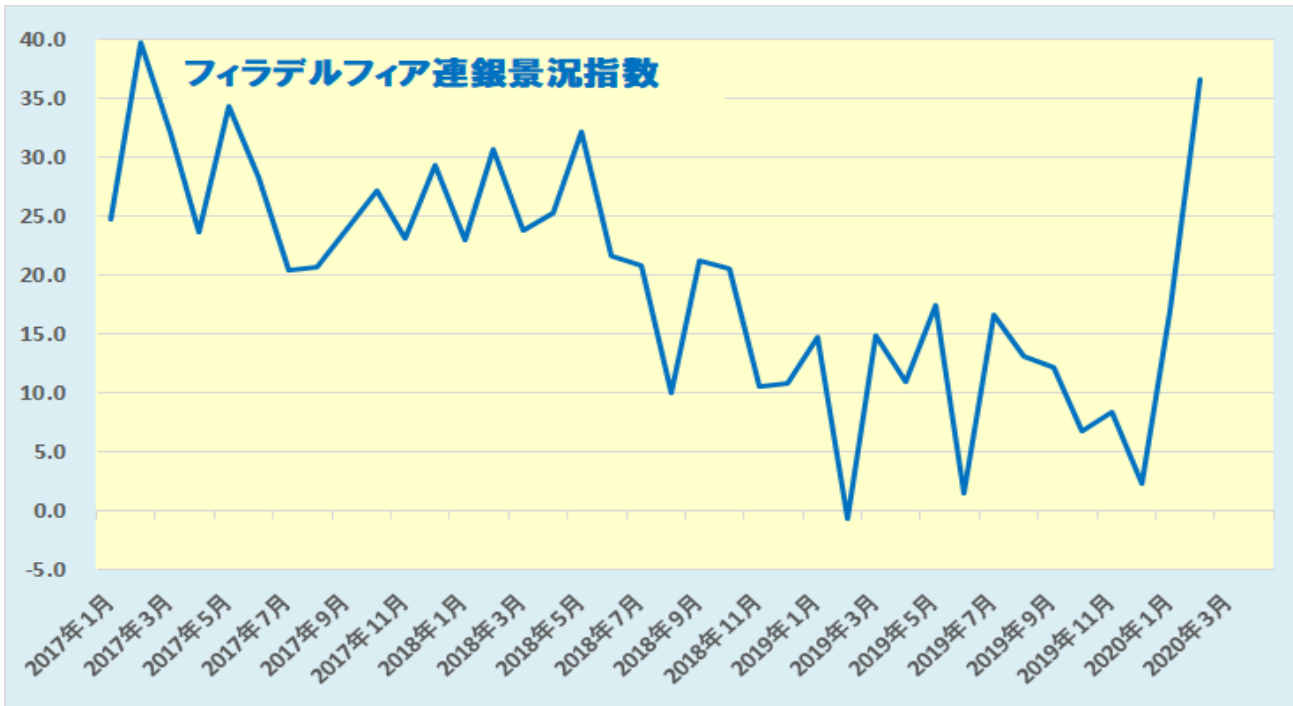
米失業保険申請件数は、前週比+0.4 万件となり市場予想と一致した。申請件数の 4 週移動平均は、前週比-3250 件の 20.9 万件。集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+2.5 万人と予想を上回り、4 週移動平均は前週比-5250 人の 172.2 万人。



データを基に SBILM が作成

2月フィラデルフィア連銀景況指数 36.7（予想 11.0・前回 17.0）

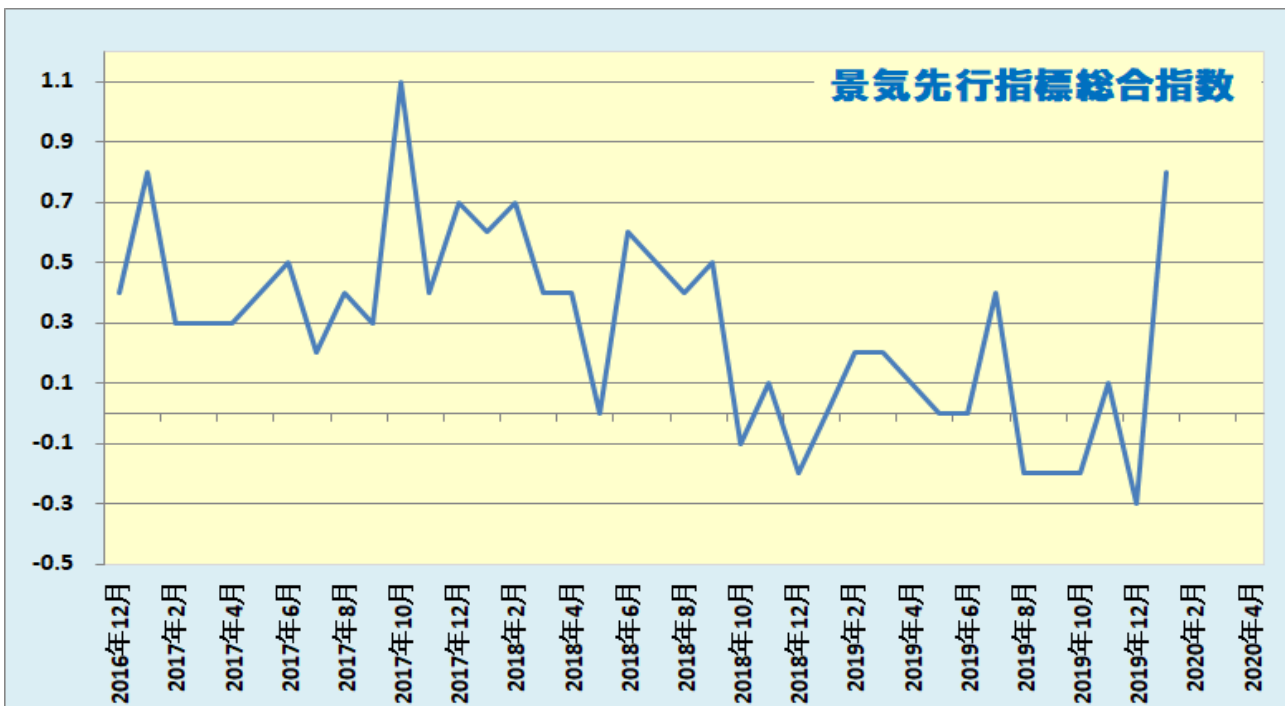
2月のフィラデルフィア連銀景況指数は、市場予想を大幅に上回る結果となり、2017年2月以来の高水準となった。仕入価格は16.4（前月22.1）、雇用者数が9.8（19.3）と前月から低下したものの、販売価格が17.1（14.7）、新規受注が33.6（18.2）、出荷が25.2（23.4）と上昇し、さらに6ヵ月先予想の景況指数も45.4（38.4）と伸びた。



データを基に SBILM が作成

1 月景気先行指標総合指数 (前月比) 0.8% (予想 0.4%・前回 -0.3%)

1月の米景気先行指数は、市場予想を上回る結果となり、2017年10月以来の大きな伸びとなった。ISM新規受注指数が10ヵ月連続のマイナスとなったがマイナス幅が縮小したことや、失業保険申請が大きく改善したことが影響した。



データを基に SBILM が作成

米主要株価指数は反落

米株式市場は、新型コロナウイルスによる新たな感染状況が報告されるなど感染の拡大が続いており、世界経済への影響を巡る懸念が高まったことから、主要株価指数は序盤から上値の重い動きとなった。ダウ平均株価は、一時 388 ドル安まで下落する場面もあったが、引けにかけては下げ幅を縮小し、128 ドル安で終了した。一方、ハイテク株中心のナスダックも一時 180 ポイント安となったものの、66 ポイント安まで下げ幅を縮めて終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	テクノロジー	-0.89%	1	インテル	-2.47%
2	金融	-0.85%	2	ゴールドマン・サックスG	-1.94%
3	石油・ガス	-0.82%	3	マイクロソフト	-1.53%
4	ヘルスケア	-0.64%	4	ファイザー	-1.05%
5	資本財	-0.45%	5	ユナイテッドH	-1.04%

データを基に SBILM が作成

ドル/円は昨年 4/25 以来の高値まで上昇

NY 市場では、欧州時間の流れを引き継ぎ、底固い展開で始まった。序盤に発表された 2 月のフィラデルフィア連銀製造業景況指数が予想外の上昇で 2017 年 2 月以来の高水準となったことや、1 月の米景気先行指標総合指数が 2017 年 10 月の大きな伸びとなるなど、米国経済の底固さが示されたことがドルの押し上げ要因となった。ドル/円は、一時 112.23 まで上昇し、昨年 4/25 以来の高値を付けた。しかし、新型コロナウイルスの新たな感染状況が報告され、感染拡大が世界経済の成長を抑制するとの懸念が広がり、米主要株価が下げ幅を拡大したことから、ドル円・クロス円は上値の重い動きとなった。ただ、引けにかけては米主要株価指数が下げ幅を縮小したこともあり、ドル円・クロス円は底固い動きとなった。主要通貨に対して上昇が続いたドルは、対円で一時 111.70 まで下落したものの、再び 112 円台まで値を戻して終了した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。